

スキーの特性に応じた基礎理論 1)

築瀬 歩(愛知産業大学)

講習の内容 (受験者のためにP.10)

— 築瀬担当部分 —

1. 環境変化とスキー指導

- 1) スキースポーツの環境
- 2) スキースポーツの特性
- 3) スキー連盟とは

10月30日 愛教大

3. スキーの指導方法論

- 1) スキー学習の構造
- 2) スキー指導の展開
における指導者の役割

11月14日 愛教大

1月22日 焼額山

8. その他必要な知識

- 1) スキー用語

2月19日 朴の木

なぜ指導者をめざすのですか？

- **指導員資格は技術のステータスではない！**
技術のステータスをもとめるならば、
テクニカル・クラウンプライズを受験せよ。
- **スキー指導者に求められる役割**
個々のスキーヤーがそれぞれの楽しさを
享受するための支援
スキースポーツの普及発展への寄与

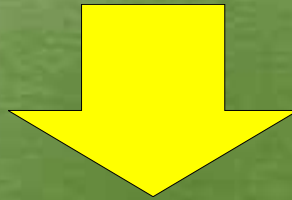
1. 環境変化とスキー指導

1) スキースポーツの環境

スキー指導は「生き物」である！

(「技術と指導」P.8)

- スキーの楽しみ方が多様化
- そのための技術が進化



- 指導するスキー技術は多様化する。
- 指導方法は進化する。

教程が長持ちすることは望ましいことではない！

スキー指導をとりまく環境の変化

場の変化

スキー場の整備
・機能拡大

物の変化

スキー用具の
性能の進歩

スキースポーツ

人の変化

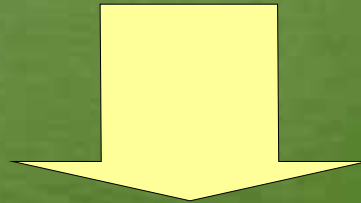
スキーヤーの欲求や
価値観の多様化

情報化

多大な情報への
容易なアクセス

情報の知識化

人・組織にとって外部の存在である「情報」



人・組織にとって思考の材料である「知識」

環境を受け入れるだけでなく、 環境に働きかける！

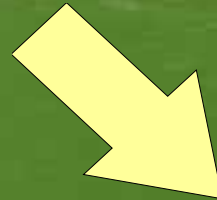
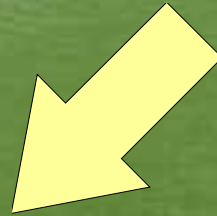
[環境: 高度情報化社会]

スキー指導
(指導者)

情報の知識化

情報の収集

知識の発信



2) スキースポーツの特性

(「技術と指導」P.10)

スキーの楽しさ

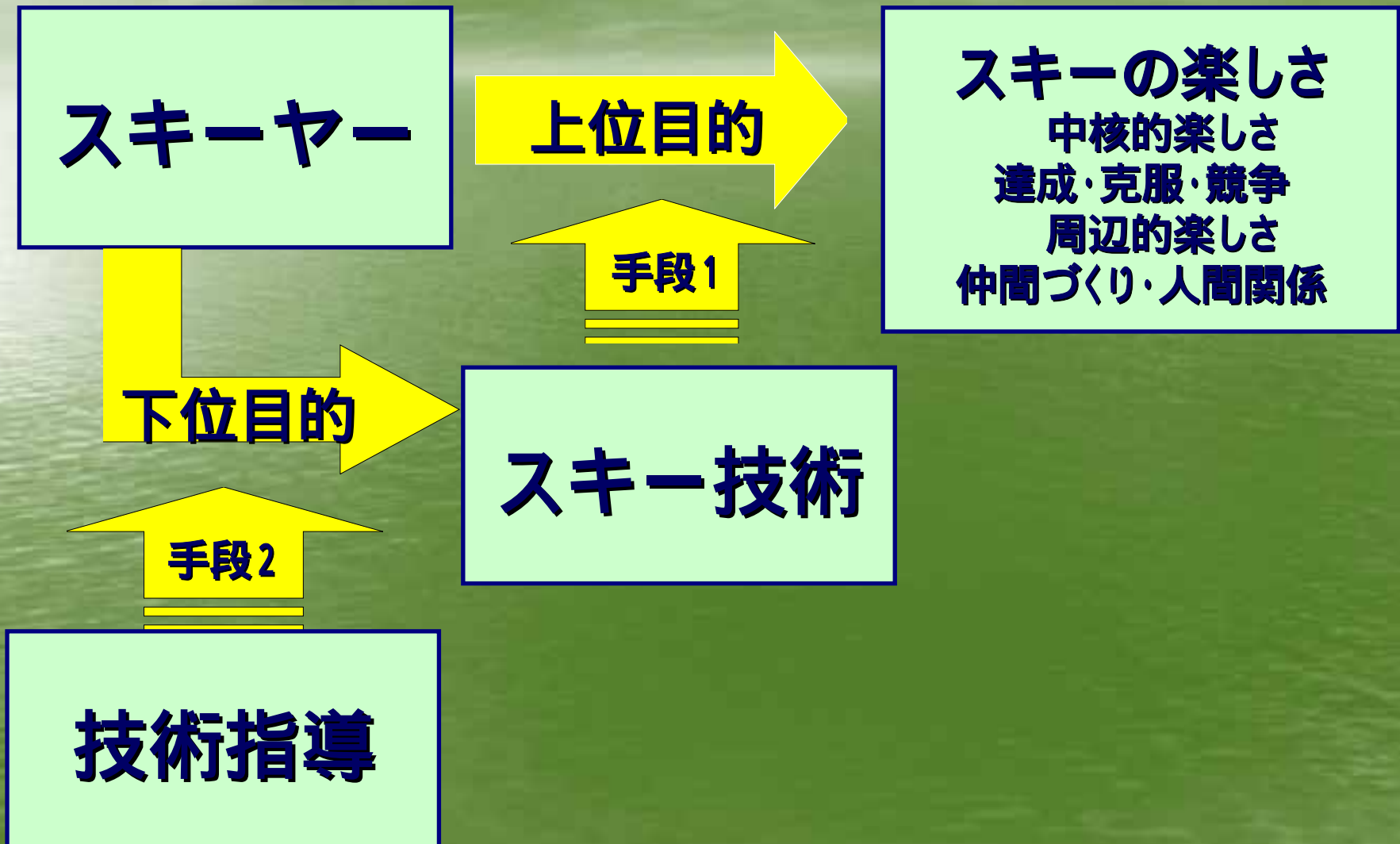
< 中核 >

克服欲求	自然条件への挑戦
達成欲求	フォームへの挑戦
競争欲求	勝敗を競う

< 周辺 >

人間関係・仲間づくりの楽しさ

スキースポーツにおける「目的」と「手段」



3) スキー連盟とは

(「誘い」PP.122-123)

財団法人全日本スキー連盟

(Ski Association of Japan)

- 1925年(大正14年)創設
- 「スキーの普及、振興を図って、日本の国民の皆さんの心身の健全な発達に寄与する」
- キーワード「安心・誠意・感動」

スキー連盟の活動

- スキーに関する調査研究
 - 指導者育成事業
 - 選手強化と大会への派遣
 - スキーの安全対策 など
-
- 各都道府県に各々のスキー連盟
 - 3100あまりのスキークラブ
 - 330余の公認スキー学校